

長島の美味しい魚が大集結

第11回おさかな祭り



↑一本釣りでブリを釣り上げ、喜ぶ子ども



↑模擬入札で競われた海産物セット
今回は、4,000円から15,000円で落札

長島の新鮮な魚を楽しんでもらい、日本一のブリの町を広くPRする第11回長島おさかな祭りが11月25日、薄井漁港で開催されました。

長島を代表する祭りとして、県内でも認知度が定着してきた同イベント。今年は県内外から1万4860人の来場者が詰め掛けました。

当日は午前9時に出水中央高校吹奏楽部による演奏で幕を開け、模擬入札や魚の一本釣りのほか、漁船パレード、芸能ショーなどで来場者を楽しませました。

4キから9キのブリやタイが当たる魚の一本釣りには、抽選で選ばれた参加者が大物を釣り上げて歓喜していました。

模擬入札では、新鮮な海産物



↑長蛇の列ができたブリの試食コーナー

を安く手に入れようといイベントを開始前から行列ができました。参加者は目当ての海産物を慎重に目利きし、競り人役の東町漁協職員による威勢の良い掛け声に合わせ、希望金額を書き込んだ競り札を掲げて競い合いました。

会場内の試食コーナーには、ブリの刺身やブリ汁など2500食が準備され、来場者は高品質のブリに舌鼓を打ちました。

このほか、新鮮な魚が安くで手に入る出店や町の特産品販売など多くの来場者で賑わいました。

出水市の梶屋元輝さんは「毎年、楽しみにしているイベント。今回は一本釣りに参加し、ブリ4キが当たった」と満足そうでした。



↑岸壁間近まで近付いた迫力の漁船パレード



↑思い思いの金額を書き込んで模擬入札を楽しむ参加者